

平成27年度家庭教育応援プロジェクト 第1回地域家庭教育推進県中ブロック会議

◇日時

平成27年6月25日（木）
13:30～16:30

◇会場

郡山市労働福祉会館



福島県教育委員会では、本県の家庭教育の現状と課題を踏まえ、家庭教育の推進や地域の教育力の向上をめざし、昨年度より「地域でつながる家庭教育応援事業」として、PTAと連携した家庭教育について親自身が学ぶ機会が充実するための支援や地域で主体的に家庭教育の支援が行えるよう学習プログラムの作成、企業と連携した家庭教育を推進しております。

これらの事業の一つとして県内7地区において、学校・家庭・地域が連携し、家庭教育の推進・子どもたちの生活習慣の向上や課題解決に向けて実践的な活動がなされるよう、PTA・学校・地域の子どもに関わっている諸団体・家庭教育支援ボランティア実践者・企業の代表者等による「地域家庭教育推進ブロック会議」を設置し、協議を行っています。

今年度のスタートとなる第1回の会議では、委員の皆様から今後の推進についてさまざまな御意見をいただきました。

【出席者】

- 幼児教育アドバイザー（学識経験者） * 県中ブロック会議のアドバイザー
- 家庭教育推進アドバイザー
- 郡山市PTA連合会副会長（郡山市立芳賀小学校PTA会長）
- 岩瀬地区PTA連合会長（鏡石町立第一小学校PTA会長）
- 石川郡連合PTA会長（平田村立蓬田小学校PTA会長）
- 田村地方PTA連合会長（三春町立岩江中学校PTA会長）
- 郡山市子ども会育成連絡協議会会長
- 郡山市スポーツ少年団副理事長
- 郡山市片平地区主任児童委員
- 石川町主任児童委員
- 郡山警察署生活安全課専門少年警察補導員
- 陸奥テックコンサルタント株式会社代表取締役
- 須賀川市中央公民館長
- 須賀川市放課後子ども教室（あすなろ）コーディネーター
- 家庭教育支援県中協議会会長

【日 程】

時 間	内 容	
13:30～	開 会 行 事	○主催者あいさつ（次長） ○事務局自己紹介
13:40～	事 業 説 明	○「地域でつながる家庭教育応援事業」の概要と「地域家庭教育推進ブロック会議」について
13:50～	自 己 紹 介	○所属先と各団体の活動等について
14:20～	経緯と現状説明	○昨年度までのブロック会議の経緯と本地区の家庭教育の現状と課題について
14:35～	企 業 報 告	○企業の家庭教育の推進状況について
15:00～	問 題 提 起	○郡山警察署補導員による問題提起
15:20～	協 議 1	○課題解決に向けた本地区の取組について
16:00～	協 議 2	○親子の学び応援講座への取組について
16:10～	協 議 3	○家庭教育応援企業推進活動への取組について
16:20～	閉 会 行 事	○御礼のことば ○諸連絡 ・第2回ブロック会議の内容について

地域家庭教育推進県中ブロック会議の経緯

- 平成23年度よりスタートした「子どもをはぐくむ家庭・地域支援事業」のなかの一つの事業
- 目的 「福島県地域家庭教育推進協議会」（本庁開催）と連携を図りながら、県中地区の家庭教育に関する現状や課題を把握し、家庭の教育力・子育て力の向上、子どもたちの生活習慣向上などを図る
 - 推進員 上記の目的を達成するために様々な分野で活躍される方々を推進委員として委嘱
 - ブロック会議 年2回、4年間で8回開催
 - 親子の学び応援講座 年3回実施し、ブロック会議の推進員も参加

ブロック会議のまとめ *地域・家庭での子育てをしていく上での課題として考えられるもの

- ◎ 家庭教育応援プロジェクト（県中版）の周知と活用
昨年度、作成し配布したリーフレットをPTAを通して周知し、各地区・単Pで独自化を図る。
・コミュニケーションを柱に生活習慣を意識した内容
- ◎ 家庭教育応援企業推進活動
昨年度は2社であったが、今年度は46社となっている。事業の周知を図り、企業の側から家庭教育を推進する環境作りを行っていく
- ◎ 親子の学び応援講座の成果を生かす
昨年度3回（大里小、沢田小、須釜小）の成果を広める。
・「ノーメディア」から「メディアコントロール」という考え方
・「ふくしまっ子」チャレンジカードの活用
・「親育ち応援学習プログラム」の活用

<企業の家庭教育の推進状況について>

陸奥テックコンサルタント株式会社 代表取締役 伊藤 清郷 氏

- 子どもに対して親が背中をみせられるようにする。
- 家庭教育推進について
 - ・「子ども第一で」・社員にも浸透している
 - ・男性の育休を奨励している
 - ・アンケートは有効である→改善しようとする行動に変わっていく
- 赤木小の通学路でゴミ拾い
- インターネット資料をアップして家庭教育を呼びかける。
- 五中生徒の職場体験受け入れ

<質問>

- 会社の雰囲気の変化は？
→ゴミ拾いを三春ダムでやる。バーベキューに父親が子どもを連れてくる。
- 企業の支援で登録カードの作成などの考えはあるか。
→必要性を痛感しているので、県社会教育課へ働きかけをしている。(事務所)



<郡山警察署補導員による問題提起>

郡山警察署生活安全課専門少年警察補導員 安齊かおり 氏

- 少年犯罪・・・数は減少しているが重い犯罪になっている。
- サイバー犯罪・・・匿名性、時間的制約がない
依存症（手から放せない）
- インターネット・・・活用の仕方が重要
 - ・解決策をしっかりと理解する
→使ってはダメの時代ではない
- サイバー犯罪から守るために
 - ・ルールとマナーを守る
 - ・文字と言葉の違いを理解する
 - ・ネットで知り合った人と会わない
 - ・約束が守れなければ1度リセットすることも大切



アドバイザーより

- ◎ 大人の背中を見せられる事を重く受け止めていく。「情報を体験に導いて」（新聞記事より）にもあるが、情報の活用のあり方について大人として考えていく。大人が子どもに伝えていく必要がある。（PTA活動、スマホ利用時間、早寝・早起き・朝ごはん）ある学校では、朝週3回外で活動する。疲れた子は、朝食を食べてきていないというデータがあった。



1 **協議1** 課題解決に向けた本地区の取組について

<メディアに関する問題に対してどのようなアクションを起こしていくか>

- 大人と子どもでは認識の差があるので、ルール作りが大切である。
- au やドコモ等による講習会を開催する。
- 幼小中高までが一体となって、メディアコントロールチャレンジに取り組んでいる。(鏡石)
- 「買ったのは親、使うのは子ども」を明確にする。フィルタリングの活用を図る。
- 自転車に乗ってのスマホ使用があり、法的な整備・周知も大切である。
- 「悩んで考えて出す答え」等、ネットにこだわらない勉強も大切である。
- 「我が家のルール、家訓コンクール」などの取組や別のものに興味をもたせる工夫が必要。
- 自然に親しませる。学んだことを家族で生かし実践する。読書の奨励。

◇アドバイザーより

- ・現状を知っていないということを正しく学ぶことが重要である。その後、対応を選択することが大切である。メディアコントロールについては、今年度も実施していくが、温度差があるので、実情に応じて取り組んでいく。

<家庭教育応援プロジェクト(県中版)の周知と活用について>

- 単P毎に取組に温度差がある。
- 連Pへの働きかけを早めに、分かり易い形で使えるような話し合いの場を作っていく。

◇アドバイザーより

- ・次年度に向けて取り組む内容を決めていく。

2 **協議2** 親子の学び応援講座への取組について

事業の目的

主として、幼稚園・小学校における家庭教育の推進に向けて、各地区に実施PTAを設置し、親の学び・家庭での実践活動を支援する。

事業概要

- 県中地区で3つのPTAで実施
- 事業の基本的な運営の仕方
 - ① PTAの課題に基づき、それぞれのPTAでテーマと実践活動を設定
 - ② 講座を開設(講師:テーマに合った内容で大学教授による講演)
 - ・ 講演・実践方法の説明・ワークショップ *親子での参加ができるものであること
 - ③ 各家庭で実践(チャレンジカード等による実践と評価)
 - * 県作成のチャレンジカードを活用することもできる
 - ④ 実践の振り返り・授業参観後の懇談会等で、親同士で話し合う
 - ⑤ 実践報告

今年度の取組

- 県中ブロック推進員の「親子の学び応援講座」への参加

- 開催は、田村市(大越小)・石川町(野木沢小)・玉川村(いずみ幼稚園)

3 協議3 家庭教育応援企業推進活動への取組について

事業の目的

家庭教育を推進するための環境づくりに取り組む企業等を募集し、資料の提供、運営のアドバイス、講師の紹介等の支援を行い、地域の家庭教育の推進を働きかける。

事業概要

- 家庭教育の推進に関する下記の取組を実施する企業を募集する。
 - ①職場の家庭教育推進に向けた取組を実施する。
 - ②生活習慣を向上させる取組を従業員へ働きかける。
 - ③学校行事への参加が促進されるよう取り組む。
 - ④職場見学・体験を実施する。(従業員の子や地域の子どもを対象に)
 - ⑤地域行事への協力・支援・行事の開催に取り組む。
- 実施報告書の作成

教育庁以外の取組

- 厚生労働省福島労働局「子育てサポート企業」
- 福島県商工労働部「福島県次世代育成支援企業認証制度」

今年度の取組

- 25日現在、46社の企業が登録
- 周知と登録の呼びかけ
- 登録証の発行等の検討
- 商工会等にも情報を伝えることによって、広がりを期待

◇事務局より

諸連絡 第2回ブロック会議の内容について

- 期日：1月21日（木）13：30～
- 内容：実践報告
 - ・PTA（代表者から直接）
 - ・企業の取組（報告書で）
 - ・本年度の成果と課題
 - ・次年度の活動について

を予定している。

